

土木学会「社会インフラ健康診断」説明会 開催結果

- 8月25日、土木学会が第三者機関としてインフラの健康状態を評価し、その結果を公表して解説する「社会インフラ健康診断書」説明会を開催し、**老朽化の現状や、維持管理・更新の必要性や課題を広く国民に発信するとともに、インフラメンテナンスの理念の普及に向けた連携について議論しました。**
- 今後、本説明会での説明や議論を踏まえて、**国民会議の会員一人ひとりが「社会インフラ健康診断書」を活用し、インフラの現状について理解を深め、その広報に取り組んでいくこととします。**

開催概要

〈プログラム〉（8月25日（金）16:30～18:00）
 本日の進め方の説明、セミナー「土木学会の取組と社会インフラ健康診断」、
 セッション「インフラメンテナンスの普及に向けた連携について」、本日のまとめ

〈参加者〉
 約50名（公益財団法人土木学会、国民会議会員（民間企業・団体等）21名、実行委員、広報部会、国土交通省）



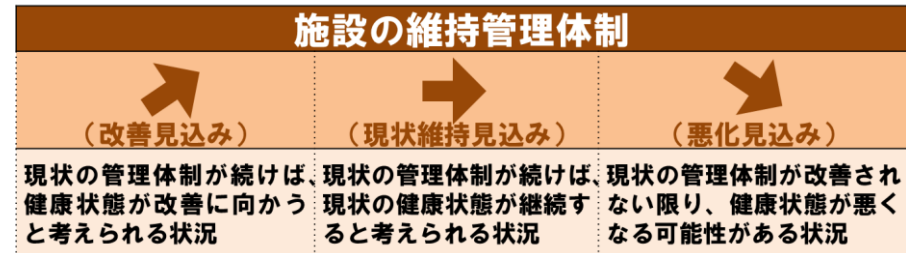
「社会インフラ健康診断」の説明
 （公益財団法人土木学会 塚田専務理事）

社会インフラ健康診断（試行版）



健康診断評価指標

部門	施設の健康度				
	A 健全	B 良好	C 要注意	D 要警戒	E 危機的
道路 下水道	ほとんどの施設で劣化が生じていない状況	ある程度の施設で、劣化が進行している状況	少なくない数の施設で劣化が進行し、早めの補修が必要な状況	多くの施設で劣化が顕在化し、補修・補強などが必要な状況	全体的に劣化が激しく、早急な対策が必要な状況
河川	ほとんどの施設で変状が生じていない状況	ある程度の施設で、変状が進行している状況	少なくない数の施設で変状が進行し、早めの補修が必要な状況	多くの施設で変状が顕在化し、補修などの対策が必要な状況	全体的に変状が進行し、早急な対策が必要な状況



セッションの様子



会場の様子